平成 25 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 24 年度実績 兼 平成 25 年度以降に係る計画)

部・課・係名等 コード 1

【1枚目】

に努め、高熱

001040101

			<u> </u>																			
省エネルギー対策に努 め、高熱水費を削減し 健康センター運営事業								部 名 等	2	民生部 政 策			策の	柱基	3 健やかで笑顔	あふれるまちづ	会計一般会計					
予 算 書 の 事 業 名 健康センター運営費						課名等	<u>S</u>		健康センター	政	政 策 名 2 健康で安心して暮らせる社会の構築					款 4. 衛生費						
耳	事業期間	開始年度	昭和61年度	終了	了年度	継続	業務分類	1	. 施設管理	係 名 等	Ş.		健康づくり係	施	策	名 2.	健康づくりの推	進		項 1. 保健衛	生費	
実カ	施計画(H25~1	H27)への記載	無		実施計画((H26~H28)	における区分	実施計	画書に記載しない	記入者氏名	á		江田 昌江	×	Ξ.	分な	L			1. 健康セ	ンター費	
J	実施 方法	〇 1.指	定管理者代行	O #±*/-*-	-対策に努め、高熱水費を削減	RLZ. 3.	負担金・補助	助金 ●	4. 市直営	電話番号	r		0765-24-3999	基	本事業	名 そ	の他					
♦ E	事業概要(どの	のようか事業	カン)								◆宝	施計画	町への記載予定事業内容				上段・計画:	下段・宝績		計	画	
健原	東センターをi			いくため、	検診料収納	業務や施設維	掛管理のため	りの契約、	支払い、清掃・保	守点検等業務			3 ジ記載 7 たず来 17日			単	TA NO.	14、人限		н		
を行	行う。										H2	7				位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
											H2	8										
		業は、誰、作	可を対象にして	いるのか。	。※人や物、	自然資源な	ど>					(i	① 市民			人	44, 692	44, 315	44, 728	44, 490	44, 178	43, 86
	市民 健康センター	-利用者										**	שנוו ע			^	44, 812	44, 315	44, 720	44, 430	44, 170	40,00
	健康センター											象 ②							=			
家												指標										
												(3	3									
	∠ 東市94年日	午によいけて 亩:	業見直しの有無	i \ ∠₩г	to4年度の近	こがなが日本	1 由家 \										17, 500	17. 400				
	△平成24年8	えにわける尹;	未兄旦しの有無				熱水費を削減し	した。				(1	① 健康センター利用者			人	17, 500	16, 666	17 300	17, 200	17, 100	1, 70
		見直し有	Ī									活				 	10	10, 000				
	<平成25年度	の主な活動内	内容>								\rightarrow	指	② 施設·設備修繕必要件数	汝		件	10	10	10	10	10	1
	A = A III M M A III	· 44 75 4-=	D.#########	μ ο ±π/45		b '±19 /0						標		W 75 35 .	=+ /u #L	14	7	7	-	-	7	
	検診料等の収	(納業務、施計	段維持管理のた	めの契約	・文払い業務	条、清掃・保	寸点 模寺業務					(3	③ 施設清掃·保守点検等!	東務委	計件数	件	7	7	1	/	1	
			対象をどのよ									ď	健康センター利用者の			%	39. 2	39. 2	39, 3	39. 4	39. 5	39.
	健康センター施設を適正に維持管理し、円滑な運営ができ、利用者が安全に利用し、かつ満足できる施設となる。										ED.	ジ (のべ利用者数÷市民)	(÷市民)			39. 2	37. 6		00. 4	39. 3		
意											果。	② 施設·設備修繕実施率			%	100. 0	100. 0		100. 0	100. 0		
図												指標	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				100. 0	100. 0				
												(3	③ 施設清掃·保守点検等	業務実	施率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.
1	<施策の目指	オオがたゝ										↑战里	県指標が現段階で取得でき	ていた	い担合 そ	の形得	100.0	100. 0				
その			質の高いサービ	スや情報	提供ができる	5 .						1 1111.7	以1918//- 2012/图 C4区图 C C	C V 13	.v 3m 🗆 、 C	V AK TO	がほを記べ					
結果																						
* 3	▲ この事務事業[開始のきっか	けとこれまでσ	事務事業	見直しの経	緯											実終	責		計	画	
昭和	和61年の健康	センター開設	にともない実施	E.									費目				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
													エネルギー対策に努め、高熱水勢			F円)	0	0	0		0	
												が石	エネルギー対策に努め、高熱水引3) その他(使用料・手数料:			F円) F円)	0 195	108	0	100	100	10
▲ B	盟始時期以後(の東路東紫を	取り巻く環境σ	変化と	会後予相さ:	れる環境変化	/ (法改正 相	目制経和	社会情勢の変化な	<i>ゾ</i>)		M	3) ての他(使用料・手数料: 4) 一般財源	寺)		F円)	11, 475	4, 110			4, 130	4. 13
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化など) 施設が開設して27年が経過し、施設建物や空間設備等が老朽化し、その維持修繕等が課題となる傾向にある。									C)		р/ (.	予算(決算)額((1)~(4)	の合計		f円)	11, 670	4, 110	4, 139	4, 230	4, 230	4, 23	
											ŀ	(1	1) 需用費			F円)	2, 426	1, 815	1, 901	1, 901	1, 901	1, 90
♦ i	市民や議会なる	どからの要望	意見(担当者	か 私見で	なく、実	際に寄せられ	1た意見・質問	目などを記	入)			± (2	2)委託料		(=	F円)	1, 707	1, 654	1, 685	1, 685	1, 685	1, 68
なし	L												3)工事請負費			F円)	0	0	0	0	0	
												30	4) 負担金補助及び交付金			F円)	78	58			66	6
	県内他市の実施								# 持 等 押 さ わ 7	-11	_	5) その他	(E) a) /		F円)	7, 459 11, 670	583 4, 110		487	487 4, 139	48	
	○ 把握して● 把握して			る。	- M DE C 2 7	~ 以 E C	·····································	-0.000001	mmの C C 0・13 0・17 1利	1.11 E 4 C 1 C (. *		A. 予算(決算)額((1)~ 務事業に携わる正規職員数	のかた		F円) 計象	11,670	4, 110	4, 139	4, 139	4, 139	4, 13
♦ F	市民と行政の情			◆選択した	た協働状況σ	内容又は理	由の記入欄						8事業の年間所要時間 第事業の年間所要時間			寺間)	400	400	400	400	400	40
	○協働して				業務のため								人件費(②×人件費単価/1	F円)		F円)	1, 734	1, 760			1, 760	1, 76
	○ 協働可能	だが未実施										事務事	事業に係る総費用 (A+B)		(=	F円)	13, 404	5, 870	5, 899	5, 899	5, 899	5, 89
	● 協働にな	じまない										(参考	5)人件費単価		\$1.01 F-100	TO. ARTHURSON.	4, 336	4, 399	4, 400	4, 400	4, 400	4, 40

【2枚目】

平成 25 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 24 年度実績 兼 平成 25 年度以降に係る計画)

				価`

	* 4 > H I	1 HM 2										
1. 基本事業と	の直絡	結度(事務事業の意図が基本事業の意図にどのくらい直編	吉しているか、その理	由も記載)	★ 評价	価結果の総括と今後	の方向性					
直結度大	ţ	拠点施設が充実し、柔軟で質の高いサービスや情報技	是供ができる。		(1)	評価結果の総括						
直結度中	1	説				① 目的妥当性	● 適切 ○ 目的廃止又は再設定の余地あり					
直結度小	`	明 ·				② 有効性	● 適切 ○ 成果向上の余地あり					
		E(民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)				③ 効率性	● 適切 ○ コスト削減の余地あり					
		り市による実施が義務付けられている				④ 公平性	● 適切 ○ 受益者負担の適正化の余地あり					
			△挙称) 1ァトァル	ビスの中本ボアコゲ(フは田野) たん	(9)	今後の事務事業の						
○ 法守など め、市に	による	る義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民 実施が妥当	・企業寺)によるザー	- ビスの美胞か不可能(又は困難)なた	(2)		ノギー対策に努め、高熱水費を削減した。 年度					
_		ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施				0	了 ○ 廃止 ○ 休止					
_		いるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(原	発上) か安当			0						
() 既に目的]を達用	成しているので、市の関与を廃止が妥当				○目的見直						
根拠法令等を訂	己入		事務の区分	自治事務		() 争務争業	のやり方改善					
3. 目的見直しの		也(現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場	合その理由と内容を診	说明、できない理由も説明)	★改革·	・改善案(いつ、どの	Dような改革・改善を、どういう手段で行うか)	高熱水費を削減した				
		現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。			省		経費の削減に努めつつ、計画的に修繕等を行う。	コストの方向性				
なし	説				工			->1 0 % MILE				
74 C	明				ネル							
					#	The December of						
年度					-1-0-1-	平成26年度						
1 0~	余地 ((成果の向上が今後どの程度見込めるか説明、できない理	由も説明) ※成果指標	要の計画と実績との比較に基づき記入	対策			維持				
7,040,141,700		施設設備等の老朽に伴い、修繕箇所が増える傾向が予想		N. F. M. G. S.	に							
					努							
なし	説明			成果実績中位	め、		保健・医療・介護連携拠点施設の建設に伴い、現在の健康センターをどうのように利用す	Z				
	91			高		か公共施設のあり方検討会で検討していく。	成果の方向性					
= \\\dagger_1 \text{\tin}\text{\tex{\tex	1	A) to define your or to be the action of the section of the secti	10 5 dat mil 10 de 1, un 1 de	V PIT	熱							
5. 連携するこ		今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無(代明、できない理田も説明)	水費							
	連携することで、今より効果が高まる可能性がある他の事務事業はない。					中·長期的 (~5年間)						
なし	説				削減	(~5年间)		維持				
	明				一							
					た							
【効率性の語	評価				-							
6. 事業費の削減	咸の余	₹地(手段を工夫することで、事業費を削減できないか説	明、できない理由も診	5明)								
		経費の削減に努めてきたが、施設設備等の老朽に伴い修	繕箇所が増えるため削	減が困難である。								
4. 1	説					★一次評価 (課長総括評価)						
なし	明			市民の値	建康増進に関するニ	一ズは高く、近年施設利用者も増加傾向にあるが、施設は築後26年を経過し、老朽化が進ん	でいること					
					から計画的な補修修繕が必要となってきている。新築される富山労災病院の近隣に、保健・医療・介護連携拠点施設建設が決定している。健康センター機能をどのように盛り込むか検討する必要がある。また、現在の健康センターをどのようにするか公共施設							
7. 人件費の削	減の会	」 余地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、で	できない理由も説明)			。健康センター機能 方検討会で検討して		18.4六肥設				
		最小人員にて事務を執行し適切である。										
	説											
なし	明							不要				
								11.5				
少 マ ウ ュ ギ	- 	 策に努め、高熱水費を削減した。										
8. 安益機会の1		公の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか) 保健事業は健康増進の意識をもって安心して暮すうえで	ホ早に亚笙に行われて	ロスニとかた 特字系光老けいたいと本	1 >1 =	in her / by M. Whele A	Λ ± hn Λ \					
		休健争未は健康増進の息職をもつく女心して春りうんで えられる。	ルベに十寸に1147れし	いっここかり、何た文並目はいないと方	★二次評価 (経営戦略会議 · 部会)							
なし	説											
	明											
9. 受益者負担の		E化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)										
		他市町村で受益者負担を求めているところはない。										
11 Ho	説											
平均	明											